

口頭発表プログラム

大会第1日 【5月19日（火）13：00～15：30】

	A会場	B会場	C会場	D会場
	降水システム I	気候システム I	熱帯大気 I	中層大気
座長	栃本 英伍（東大大気海洋研）	小畑 淳（気象研）	川島 正行（北大低温研）	富川 喜弘（極地研）
151	諸富 和臣（日本無線） 令和元年台風19号（Hagibis）に伴い市原市で発生した竜巻のフェーズドアレイ気象レーダ観測	中澤 哲夫（気象研） 熱帯の深い対流活動の長期トレンド（第2報）	山中 大学（地球研） 海大陸沿岸日周期のパラメタリゼーションへ向けて	富川 喜弘（極地研） LODEWAVE（LOng-Duration balloon Experiment of gravity WAVE over Antarctica）
152	足立 透（気象研） フェーズドアレイ気象レーダーで観測された2019年10月12日市原竜巻の発生メカニズムについて	山田 洋平（JAMSTEC） HighResMIPマルチモデルアンサンブルの出力を用いた台風発生数の将来変化への台風の種の寄与の解析	伍 培明（JAMSTEC） なぜ東進するMJOに伴う対流はスマトラ島上で弱まるのか？	吉田 理人（総研大・複合・極域） 最新の気象再解析データERA5における昭和基地上空での大気重力波再現性 - PANSYレーダーとの比較
153	今井 隆翔（名大ISEE） フェーズドアレイ気象レーダデータの解析に基づく海上竜巻を発生させた対流雲内部の渦構造の時間変化	小坂田 ゆかり（京大） 偏波レーダ情報を用いた線状対流系の擬似温暖化手法に関する提案	高須賀 大輔（東大大気海洋研） 季節内一経年変動の相互関係から見たMJO発生領域の変調	河谷 芳雄（JAMSTEC） 赤道半年周期振動の再解析間比較と衛星データによる検証
154	楠 研一（気象研） AIを用いた竜巻等突風の自動予測・情報提供システムの開発 -開発の現状-	土井 威志（JAMSTEC/VaiG/APL） 2019年に発生した極端に強いインド洋ダイポールモード現象 - その予測可能性とエルニーニョモドキ現象との関係 -	神山 翼（お茶大情報） インド洋西端に位置するWalker循環の先鋭な下降流	高麗 正史（東大院理） 熱帯域のLapse-Rate Tropopause高度の季節サイクル
155	佐々 浩司（高知大理工） スーパーセル竜巻形成における下降冷気の影響	林 未知也（ハワイ大） 気候モデルによる海洋垂表層の非線型力学加熱の再現性：ENSO非対称性と熱帯温暖化予測における役割	児玉 真一（AORI） 秋季の台風による遠隔降水に伴う水蒸気輸送	佐藤 薫（東大院理） 新たな3次元残差流理論に基づく成層圏循環のクライマトロジー
156	佐々 浩司（高知大理工） 台風外縁の波状雲に伴う竜巻	吉森 正和（東大大気海洋研） FATメカニズムに由来する気候感度の不確実性と放射フィードバックの新しい定式化について	川島 正行（北大低温研） 熱帯低気圧のアウトフローに伴う低安定度層の成因について	松山 裕矢（九大院理） 大規模アンサンブルデータを用いた成層圏のプラネタリー波伝播の解析

157	梶本 英伍 (東大大気海洋研) 竜巻の強さと温帯低気圧の関係	シェリフ多田野 サム (AORI) 気候モデル MIROC4mの南大洋海面水温バイアスに対する雲の影響	鳥山 菜海子 (お茶大情報) 台風目のサイズに関する衛星画像の解析	野口 峻佑 (JAMSTEC) 2019年南極成層圏突然昇温の熱帯対流圏への影響ー成層圏規定アンサンブル予測実験による評価ー
158	益子 渉 (気象研) 2019年日本に暴風・竜巻等突風をもたらした台風の特徴	黒田 友二 (気大) 太陽活動の北大西洋振動への影響: モデルの解析	金田 幸恵 (名大ISEE) 多重壁雲台風のベストトラック相互比較	小新 大 (東大院理) 中層大気の長期データ同化プロダクトの作成
159	佐藤 晋介 (NICT) さいたまMP-PAWRで観測された2019年台風15号の強風域の3次元構造	小畑 淳 (気象研) 将来温暖化時の早魃、飢饉を地球システムモデルで探る	岩下 久人 (明星電気株式会社) 2018年台風21号と2019年台風15号の地上稠密気象観測網による気圧と風向・風速の観測結果	直江 寛明 (気象研) マルチセンサの衛星観測によるオゾン全量のバイアス補正
160		藤原 ケイ (なし) 海面昇温現象と2周期彗星 (133P、176P) の内合	稲吉 秀夫 (府中ソフトウェア本社) 台風発生抑止の可能性の検討 (1)	劉 光宇 (九大院理) 南極域におけるオゾン全量変動と力学場の関係II

大会第2日 【5月20日 (水) 9:30~11:30】

	A会場	B会場	C会場	D会場
	気候システムII	降水システムII	大気力学	気象予報I
座長	小倉 知夫 (国環研)	瀬瀬 丈晴 (名大ISEE)	岩山 隆寛 (福大・理)	澤田 謙 (気象研)
201	廣田 渚郎 (環境研) CMIP5/6における過剰な対流が関わる気候感度の過小評価	川島 正行 (北大低温研) 沿海州風下における筋状降雪雲の蛇行について	増田 善信 (元・気研) 2014年8月と2018年7月の線状降水帯の比較	清水 宏幸 (気象庁) 気象庁全球解析へのハイブリッド同化・マイクロ輝度温度全天同化・アウトグループの導入
202	小倉 知夫 (国環研) 気候予測シミュレーションにおいて下層雲が減少する仕組み	瀬瀬 丈晴 (名大ISEE) MP-PAWRで観測された関東における冬季の雷雲	山崎 一哉 (東大院理) トランスバースラインの観測的および理論的研究	岡本 幸三 (気象研) ひまわり8号の全天候輝度温度の全球同化 (その1) モデルの再現性とデータ同化の初期結果
203	川合 秀明 (気象研) 全球の海洋層積雲が消失した際の気候場への影響	櫻井 南海子 (防災科研) 2019年1月31日に首都圏で発生した上向き落雷について	岡島 悟 (東大先端研) 北太平洋に特徴的な移動性擾乱活動の季節進行 (真冬の振幅低下) に関するエネルギー収支解析	上清 直隆 (気象研) ひまわり8号の雲域データの全球データ同化ー雲の影響を考慮した品質管理と観測誤差の設定ー

204	千葉 丈太郎 (気象研) 層積雲スキーム改良によるSST-SWフィードバックの改善	岩崎 博之 (群馬大教育) 全規模で見た「一発落雷」の特徴	杉木 優介 (東大理) ERA5を用いた台風に伴う循環場及び擾乱場の解析	石橋 俊之 (気象研) 雷光観測の全球同化(序)
205	小坂 優 (東大先端研) シルクロードパターンの地球温暖化に伴う変動とその要因	鈴木 賢士 (山口大院創成) GPM主衛星搭載の二周波降水レーダDPRプロダクト検証と雷を伴う降雨の事例解析	岩山 隆寛 (福大・理) ベータ平面上2層準地衡流系におけるダニロフ不等式	澤田 謙 (気象研) 変分法同化システムにおける過飽和制約の導入
206	前田 修平 (気象研) ユーラシア (EU) パターンの三次元構造	山内 晃 (東大大海研) CloudSatとひまわり8号を用いた雲物理特性の時間変化について～その2～	板野 稔久 (防衛大・地球海洋) 超音波風速計を用いた二重らせん渦の測定	南出 将志 (NASA JPL) 全天赤外輝度温度のデータ同化による台風強度予測 ～2017 ハリケーンシーズンを通じたパフォーマンス評価～
207	小林 ちあき (気象研) 2019年南半球成層圏突然昇温後の負の南極振動の持続	村上 正隆 (宇宙地球環境研究所) 高濃度氷晶雲の実態把握と検出法・予測法開発に関する基礎的研究ー研究計画概要ー	樋口 太郎 (AORI) 白亜紀と現在における大気中CO ₂ に対する水循環の応答の違いに関する研究	加藤 顕 (京都大学院) CNNを用いた台風の強度予測とその解析
208	相澤 拓郎 (東大大気海洋) 20世紀前半における北極域の気温変化と海氷変動における外部要因	金井 大造 (電中研) 原子炉事故時の過飽和霧囲気におけるエアロゾル粒径評価	高木 征弘 (京産大理) 金星の紫外アルベドとスーパーローテーションの長期変動	堀 正岳 (極地研) YOPP集中観測期間中における圏界面付近のラジオゾンデ気温の不一致に関する研究

大会第3日 【5月21日 (木) 9:30~11:30】

	A会場	B会場	C会場	D会場
	熱帯大気 II	降水システム III	専門分科会3 「IoT」の発展は気象学にイノベーションをもたらすのか？」	気象予報 II
			趣旨説明 重田 祥範 (鳥環大)	
座長	久保田 尚之 (北大院理)	上野 健一 (筑波大)	野津 雅人 (都立大)	榎本 剛 (京大防災研)
301	筆保 弘徳 (横浜国大) 2019年台風15号の発生・発達環境場の定量化	馬場 雄也 (JAMSTEC) スペクトル型積雲対流スキームで再現された海大陸域降水の日変化応答	岩下 久人 (明星電気株式会社) 地上稠密気象観測ビッグデータの気象予測へのリアルタイム応用技術	牛山 朋来 (土研 ICHARM) 利根川流域を対象とした気象庁1か月アンサンブル予報のダウンスケーリング

302	和田 章義 (気象研) 2019年台風シーズンにおける大気海洋環境場の特徴	宮本 佳明 (慶大環境情報) 二次元Rayleigh 対流に対する雲凝結核 (CCN) 数濃度の影響	角田 敦 (TOK) 高精度転倒ます型雨量計の研究	榎本 剛 (京大防災研) 2019年台風第19号の予測可能性
303	柳瀬 亘 (気象研) 令和元年台風第19号の降水の非対称化メカニズム	上野 健一 (筑波大) 冬季多降水をもたらす温帯低気圧の構造解析	東海林 孝幸 (豊橋技科大) 気象要素を考慮した園芸施設における植物生育シミュレーションモデルの設計	米原 仁 (気象庁数値) 気象庁全球モデルの地形性抵抗過程の改良
304	大滝 寿一 (横浜国大) 台風経路-高潮アンサンブルシミュレーションによる高潮ノモグラムの開発	金子 航 (東大大気海洋研) Atmospheric Riverの降水特性に及ぼす効果と経年変化に関する研究	大橋 唯太 (岡山理大・生物地球) ドローンを利用した霧の観測	鍋谷 堯司 (気象庁数値予報) 気象庁全球モデルの陸面過程における部分積雪の改良
305	山口 宗彦 (気象研) 1980年以降東京に接近する台風が増加している	辻 宏樹 (東大大気海洋研) GPM SLH (スペクトル潜熱加熱推定法) V06Xプロダクトにおける改良点	野津 雅人 (都立大) 夏季晴天日における接地点境界層での気温時間変化の UAV による観測	中川 雅之 (気象研) 気象庁全球モデルへの浅い積雲対流スキームの導入
座長			吉田 聡 (京大防災研白浜)	
306	久保田 尚之 (北大院理) 日本に上陸した台風の長期変動(1878年-2019年)	高橋 暢宏 (名大ISEE) GPM/DPRのマルチパラメータレーダによる検証	杉山 耕一朗 (松江高専 情報) 高専におけるIoT演習と校内環境モニタリングシステム	井上 剛 (筑波大) LSTMと空間分布のエンコーディングを用いた降水量の空間最大値の短時間予測
307	杉 正人 (気象研) 温暖化による台風の種の将来変化	前坂 剛 (防災科研) マルチセンシング観測による積雲から積乱雲への成長過程	重田 祥範 (鳥環大) 急激な気象変化が若年女性の自律神経バランスに与える影響	高野 雄紀 (東大大気海洋研) MSMGPVを用いた雲を考慮する日の出予想の試み
308	坂崎 貴俊 (京大院理) ERA5地上気圧データで同定された高周波自由振動モード	小司 禎教 (気象研) 首都圏短時間強雨の環境場 - 東風の特徴 -	佐藤 克文 (東大大海研) バイオリギングで実現するInternet of Animals	吉田 健二 (CTC) 複数現業気象機関の数値予報を用いた風力発電出力予測の検討
309			吉田 聡 (京大防災研白浜) ウミガメによるバイオリギングを用いた台風・爆弾低気圧下の海水温観測	

大会第3日 【5月21日（木） 14：30～18：00， D会場～16：30】

	A会場	B会場	C会場	D会場
	専門分科会1 「高性能スーパーコン ピュータを用いた最新 の大気科学の進展と展 望」	気候システムⅢ	専門分科会2 「気象分野における途 上国支援・協力の現状 と今後の展望」	観測手法 I
	趣旨説明 高橋 桂子 (JAMSTEC)		趣旨説明 赤津 邦夫 (JICA)	
座 長	本田 匠 (理研計算科 学)	野坂 真也 (気象研)	石原 正仁 (気象解析 システム)	清水 健作 (明星電 気)
351	本田 有機 (気象庁) 2030年に向けた現業数 値予報システムの開発 の進捗	尾瀬 智昭 (気象研) 日本域の季節平均気圧 配置の将来変化	小野 濟 (JICA地球環 境部) JICAの気象分野におけ る途上国支援の現状と 課題	菅原 広史 (防大地 球) ドローンによる低層雲 の観測
352	瀬古 弘 (気象研) 現業同化システムに準 拠したメソ数値予報実 験システムを用いた船 舶GNSSの同化実験	釜堀 弘隆 (AORI) 様々な時間スケールの アメダス極端降水量の 季節・長期変動 －ENSOへの応答－	菅野 能明 (気象庁) 気象庁の国際協力業務	箕輪 昌裕 (FURUNO) 小型マイクロ波放射計 および雲カメラによる 洋上気象観測
353	藤田 匡 (気象研) ドップラー速度の観測 誤差相関を考慮した変 分法データ同化の検討	野坂 真也 (気象研) 全球平均気温が1.5℃、 2℃、4℃上昇した場合 の日本周辺の気候変化	山本 幹人 (気象庁気 象衛星課) 静止気象衛星ひまわり による国際貢献	清水 健作 (明星電 気) 雲/降水粒子撮像装置ビ デオゾンデの 1680MHz 帯実験局から400MHz帯 気象援助局への移行技 術の研究開発
座 長	川畑 拓矢 (気象研)			
354	大泉 伝 (JMBSC) 平成30年7月豪雨を対象 とした高解像度実験	初塚 大輔 (北大院地 球環境) 降水タイプ別にみた極 端降水と地上気温の関 係	登内 道彦 (気象業務 支援センター) 途上国における気象分 野支援への貢献	堀 康郎 (技術室) 衛星放送電波を用いた 降雨強度、雨量の測定 (3)
355	栃本 英伍 (東大大気 海洋研) 準線状の降水システム に伴う竜巻の発生過程 －1992年12月8日に茨城 県千代田町で発生した 竜巻－	谷貝 勇 (元気象大) 地球温暖化が影響する 日本の冷夏と暑夏につ いて (その12) －北海道の蝦夷梅雨と 梅雨空－	岩田 総司 (日本気象 協会) 途上国気象局職員の日 本国内研修における大 学及び研究機関協力先 の現状	足立 アホロ (気象 研) 二重偏波レーダーによ る雨滴粒径分布の形状 パラメータの推定 (そ の2)
356	川畑 拓矢 (気象研) Weather forecastから Impact-based forecastへ －富岳プロジェクト： メソ大アンサンブル予 測－	中村 祐貴 (三重大院 生物資源) 近年における関東降雪 の極端化と大気循環の 変化	石原 正仁 (気象解析 システム) JICA長期専門家から見 た国際協力	山田 芳則 (気象研) 複雑地形上でのDual- PAWR による降水シス テム内の3次元風解析
	休憩		休憩	

座長	栃本 英伍 (東大気海洋研)			
357	前島 康光 (理研計算科学) 雷観測データBOLTの同化に向けた観測演算子の設計調査	宮坂 貴文 (JMBS) 関東における極端降水と付随する循環場の将来変化	ベヘラ スワディヒン (VAiG Application Laboratory) Climate prediction based societal applications	民田 晴也 (名大宇地研) 3周波レーダ降雪観測ーレーダ反射因子の周波数特性ー
座長		若月 泰孝 (茨城大)	余田 成男 (京大・院・理)	
358	本田 匠 (理研計算科学) 雷観測のデータ同化へ向けた基礎的な調査	若月 泰孝 (茨城大) 関東域の夏季の大気循環と降水における都市効果の評価	沖 大幹 (東大未来ビ) タイにおける水文・気象共同研究の30年	佐藤 英一 (気象研) 気象レーダーを用いた火山噴煙解析結果の検証について
359	佐藤 正樹 (東大AORI) 全球非静力学モデルNICAMによる気象・気候予測研究	佐藤 尚毅 (学芸大) 冬季の中部日本におけるマルチモデル気候予測の二極分布	山中 大学 (地球研) インドネシア海大陸の観測気象学: JEPP, SATREPSと今後	
座長	八代 尚 (国環研)			
360	寺崎 康児 (理研計算科学) 観測ビッグデータ同化に向けたマイクロ波サウンダデータの水平観測誤差相関を考慮したデータ同化	遠藤 洋和 (気象研) 高解像度MRI-AGCMによる東アジアの夏季降水量の将来変化と不確実性	石川 裕彦 (京大防災研) 極端気象を対象とした大学院レベルの人材育成	
361	宮川 知己 (東大AORI) 「京」から「富岳」へ: NICAM/NICOCOを用いた延長予測の取り組み	小林 峻 (筑波大学地球学類) ハノイの記録的高温に寄与した異なる時空間スケール現象	余田 成男 (京大・院・理) アジア・オセアニアから世界への発信: 文部科学省・科学技術振興機構・日本学術振興会の諸国際交流プログラムの推進	
362	八代 尚 (国環研) スーパーコンピュータ「富岳」開発における気象・気候分野のアプリケーションコデザイン	原田 やよい (MRI) 西日本の大雨時における大気大循環場の特徴~平成30年7月豪雨との比較~ (第2報)	林 泰一 (京大東南研) インド亜大陸北東部の大気現象と気象災害	
363	終わりの挨拶と富岳プロジェクトの期待	塩崎 公大 (京大院理) 冬季極東域における寒暖に対応するEl Niñoの予測可能性	齊藤 和雄 (大気海洋研) 東南アジア気象災害軽減国際共同研究とJICAベトナム技術支援プロジェクト	
364		竹村 和人 (気象庁気候情報) 夏季日本付近におけるロスビー波の砕波頻度と関連する大気大循環	楠 昌司 (気象研) 気象研究所高解像度全球大気モデルによる国際研究協力	

365			佐々木 秀孝 (気象研) NHRCMを用いたアジア・太平洋地域における気候変動予測実験に関する共同研究について	
			総合討論	

大会第4日 【5月22日 (金) 9:30~12:30】

	A会場	B会場	C会場	D会場
	降水システムIV	環境気象・物質循環	大気境界層・大気放射	観測手法II
座長	荒木 健太郎 (気象研)	田中 健路 (広工大環境)	西 暁史 (筑波大・CCS)	境澤 大亮 (JAXA)
401	藤部 文昭 (首都大・都市環境) 台風19号とカスリーン台風による降水量分布の比較—区内観測資料の利用—	芳野 玲 (桜美林大学) ひまわり8号を用いた二時期カラー合成画像による台風19号の浸水範囲可視化	中村 祐輔 (立正大・院) 中小規模都市における夜間都市境界層の形成と卓越風の関係	上里 達実 (理研AIP) Deep Image Priorによるラマンライダーデータのノイズ除去
402	渡邊 明 (気候変動研) 台風201919号による阿武隈流域の降水特性	山本 晴彦 (山口大) 帝国日本における気象観測ネットワークの構築—中央気象台2—	川端 康弘 (気象研) 東京と熊谷における視程の経年変化	柴田 泰邦 (東京都立大) ライダーによる大気境界層の気温鉛直分布の連続観測
403	梅原 章仁 (気象研) 2019年台風第19号の降水過程に関する二重偏波ライダーを用いた解析	板橋 秀一 (電中研) 岩手県綾里における1976-2011年の降水成分の経年変化	大橋 唯太 (岡山理大・生物地球) 別府で発生する滑昇霧の数値シミュレーション	内野 修 (国環研) ライダーネットワークで観測された最近の成層圏エアロゾルのイベントについて
404	竹見 哲也 (京大防災研) 2019年台風19号による豪雨発生時の環境条件：湿潤絶対不安定層の役割	佐藤 亮吾 (筑波大院生命環境) 地域性・季節性・年齢を考慮した熱中症救急搬送者数予測モデルの開発	重田 祥範 (鳥環大) 照度と湿数変化から推定される放射霧の消滅過程—岡山県津山盆地を例として—	菊池 麻紀 (JAXA) 衛星搭載ライダーCALIOPによる平板氷晶の全球長期解析
405	荒木 健太郎 (気象研) 令和元年台風第19号による大雨の環境場と地形の影響	田中 健路 (広工大環境) 2019年3月21日に長崎市で浸水被害を発生させた気象津波	守永 武史 (気象研) 境界層乱流における不安定成層時の風速・温度変動	西澤 智明 (NIES) 衛星搭載ライダー・雲レーダーによる雲・エアロゾル・対流観測ミッション
406	Nayak Sridhara (DPRI) Understanding the temporal organization of typhoon induced extreme precipitation over northern Japan	内山 常雄 (予報士会) 台風1915による停電時の千葉県の気温低下の検証	河合 佑太 (RIKEN R-CCS) ラージエディシミュレーションにおける力学コアの高精度化の必要性に関する考察	境澤 大亮 (宇航研) 衛星搭載植生ライダーによる林冠高計測とバイオマス推定

座長	山口 弘誠 (京大防災研)	伊藤 彰記 (JAMSTEC)		
407	齊藤 和雄 (大気海洋研) 台風に伴う非地衡風による北向き水蒸気フラックス	堤 之智 (NIES) 富士山頂で観測された6年間の対流圏オゾンの平均的な季節変化	西 暁史 (筑波大・CCS) d4PDF領域モデル実験における局所的な極端高温の再現性	岡本 創 (九大応力研) 衛星搭載ドップラーライダーとイメージングFTSによる全球風速複合観測システム
408	北畠 尚子 (気象大) 2019年10月25日の東日本の大雨に対する総観場の影響	鶴野 伊津志 (九大応力研) 越境汚染の硫酸塩から硝酸塩へのパラダイム・シフト	小野寺 平 (筑波大) 清川だし吹走時の気温変化とその形成メカニズム	石井 昌憲 (情通研) 衛星搭載ドップラー風ライダーによる風観測
409	荒木 健太郎 (気象研) 2019年10月25日関東大雨のメソスケール環境場	伊藤 彰記 (JAMSTEC) 観測データに基づいた鉱物ダストによる放射効果の全球モデル研究	中村 真悟 (筑波大院) 新潟市における極端な猛暑を引き起こす台風の経路分析と将来予測	阿保 真 (都立大) 衛星搭載ライダーによるグローバルな水蒸気分布観測の提案
座長			谷川 朋範 (気象研)	
410	吉田 智 (気象研) 観測システムシミュレーション実験を用いた水蒸気観測の影響評価	川名 華織 (JAMSTEC) 春季中部太平洋域における生物起源蛍光性粒子の時空間分布および蛍光パターン	谷川 朋範 (気象研) ニーオルスンにおける全天分光日射計を用いた積雪粒径・積雪不純物濃度の推定	内山 明博 (環境研) GOSAT-2/CAI-2エアロゾルプロダクトの検証 (計画)
411	山口 弘誠 (京大防災研) 水蒸気のアンサンブル予測情報の更新履歴解析による線状降水帯の予測	鶴田 治雄 (RESTEC) 福島第一原子力発電所事故直後の大気中放射性ヨウ素 (131I) の動態 (その2) : 原発近傍のSPM測定局における放射性プルーム中の131Iの推定	関口 美保 (海洋大) 気候変動観測衛星『しきさい』の観測データを用いた多波長多ピクセル法による大気エアロゾルの解析	大和田 浩美 (JMA) 静止衛星搭載ハイパースペクトル赤外サウンドの観測システムシミュレーション実験
412	二宮 洸三 (無所属 (個人)) 日本近傍の梅雨前線低気圧・雲-降水システムの変動 (1982年7月の観測事例)	佐藤 陽祐 (北大理院) 福島第一原子力発電所起源の137Csを対象とした第3次モデル間比較プロジェクト	関口 美保 (海洋大) 金星大気対応広帯域放射伝達モデルMstrn-Venusの開発	小司 禎教 (気象研) 潮汐モデルを用いた船舶GNSS可降水量誤差補正の試み

大会第4日 【5月22日（金） 14：00～17：00， B会場～15：30， C会場～15：40】

	A会場	B会場	C会場	D会場
		中高緯度大気	降水システムV	
座長		平田 英隆（立正大・地球環境科学）	田尻 拓也（気象研）	
451		平田 英隆（立正大・地球環境科学） 寒候期における日本周辺の強風と温帯低気圧との関係	田尻 拓也（気象研） つくばで計測された大気エアロゾル粒子の氷晶核能	
452		佐藤 拓人（筑波大） 気圧配置分類における類似度計算法の相互比較	郭 威鎮（気象研） Droplet Size Distribution Activated and Grown from Hygroscopic Particles in CCNC	
453		宮本 真希（北大） 気象要素による前線抽出方法とその評価	齋藤 泉（名工大院工） 雲粒粒径分布の雲乱流統計理論と雲乱流チャンバー実験との直接比較	
454		野口 萌（福岡大学大学院理学研究科） 梅雨期における東シナ海上での下層強風帯の特徴	久芳 奈遠美（AORI） 雨水形成効率と衛星観測データの関係 －衛星観測からバルク法雲物理スキームのshape parameterを調節する方法－	
455		原口 諒平（福大院理） 夏季東南極大陸縁辺で無人航空機によって観測された超微小粒子の増加とモデルによる支配要因の検討	末木 健太（理研計算科学） Ensemble Kalman Filterを用いた雲微物理スキームのパラメータ推定	
456			鷹野 敏明（千葉大院工） ミリ波雲レーダ FALCON-Iによる融解層での雨滴形成と落下の詳細解析	
457			秋山 静佳（京大院理） 衛星搭載二周波降水レーダを用いた固体降水層における降水微物理特性の解析	

公開気象講演会
「命を守る身近な気象情報」